



令和6年5月1日発行

5月 第2号

TEL 028-656-1586

FAX 028-657-7220

卒業後の進路選択&決定の主な日程

今年度の3年生の進路選択及び決定に関する、1月上旬までの主な日程を掲載します。
詳細については分かり次第、お知らせします。

日程 (予定)	項 目	内 容
※ 主に「広域通信制の高等学校」や「専修学校・専門学校で高等課程を有する学校」で、学校説明会等を随時開催しています。情報は掲示物や個別相談等でお伝えします。Web や電話での申込以外に、中学校を通しての申込も可能です。		
～6月上旬	一日体験学習の申込	県立・私立高などの一日体験学習
※ ～5月中旬頃に県立・私立高等学校の「一日体験学習」の要項がそろいます。夏の県大会や関東大会、全国大会やその他の日程等を確認しながら、どの学校の体験学習に参加するかを決めていきます。		
夏休み中	三者懇談	学校生活全般の話題及び <u>進路の相談</u>
主に夏休み中	一日体験学習	県立・私立高などの一日体験学習
※ <u>夏休み期間に行われる一日体験学習や、土・日の学校説明会</u> （主に「 <u>広域通信制の高等学校</u> 」や「 <u>専修学校・専門学校で高等課程を有する学校</u> 」が実施）に参加したり、パンフレットなどで情報を集めたりします。		
9月27日(金)	私立高等説明会	私立高への進学及び出願に関する説明
※ 私立高入試説明会を受け、県立高までの入試を見通し、私立高の推薦や単願等を含め、私立高入試（一般入試第1回は年明けすぐ試験）の受験校を検討します。		
10月29日(火)～ 11月8日(金)	3年進路相談	受験計画全体の見通しを立て、私立高入試(推薦・第1回)の手続きを確認します。
※ 進路相談での話し合いをもとに、必要な書類をそろえて中学校に提出します。インターネットでの出願手続きや受験料の払い込み（クレジットカード等）を行います。		
11月22日(金)	県立高受検説明会	県立高入試(特色・一般)に関する説明
※ 県立高入試説明会を受け、県立高の受検校を決定していくとともに、私立高入試(第1回)の結果によって第2回受験をどうするかなどについて確かめておきます。		
1月8日(水) ～16日(木)	3年進路相談	私立第2回入試、県立(特色・一般)入試の手続きについて確認します。

3年生の
主な行事

体育祭
5月18日(土)
修学旅行
6月10～12日
(月～水)

総体地区大会
総体県大会

関東・全国大会



文化祭
10月26日(土)



★令和7（2025）年度栃木県立高等学校入学者選抜関係諸日程について

項目	全日制課程		定時制課程		通信制課程
	特色選抜関係	一般選抜関係	フレックス 特別選抜関係	一般選抜関係	
願書等提出期間	1/30, 31 (木・金)	2/19, 20 (水・木)	2/25, 26 (火・水)	3/12～14 (水～金)	3/12～25(水～火) ※土日祝を除く
出願変更期間	—	2/25・26(火・水)	—	—	—
受検票交付期間	—	2/27・28(木・金)	2/27・28(木・金)	—	—
検査日	面接等 2/6, 7(木・金)	学力検査 3/6(木)	特別選抜 3/6(木)	学力検査 3/18(火)	面接 3/20, 26(木・水)
合格者内定	2/13(木)	—	—	—	—
合格者発表	3/12(水)	3/12(水)	3/12(水)	3/24(月)	3/27(木)



受験生をもつ親として……



1. 生徒の皆さんの心の中には何が生まれているのでしょうか。

受験期の子の心を支配してくるものは何でしょうか。受験が近づくほど次のような気持ちが大きくなるといいます。

◇親は自分に何を期待しているか。

→親の期待に応えられるかを気にする。
(親の願いが子の重荷になってないか、
……親子の会話を日常的に、確実に。)

◇自分に何が向くかを探し、迷っている。

→誰かに頼りたい気持ちが大きくなる。
(迷いながらの進路選びです。放任してしまうと
不安が増大します。)

◇学習の抑圧と心の中で戦い続けている。

→「勉強しなければ」と分かっている。
(他のことをしていても集中できずに、いらいら
していませんか。)

◇友との比較を極端に意識している。

→自分でもすぐに他と比較してしまう。
(更に親から比較されてしまうことは、心の傷に
針を刺すようなものです。)

◇自分をもう一人の自分が監視している。

→でも、すぐには改善に取り組みない。
(こんな自分でもいいのか、選択は正しいか、と常に
問い続けているのです。)

◇早く決めてしまいたい気持ちに陥る。

→進路選択がよい加減になりやすい
(どこでもいいから、安心するために早く決めたい
と「やけ」を起こすことも。)

2. 受験生をもつ親として何が必要になってくるのでしょうか。

親としてできることにはどんなことがあるのでしょうか。

◇お子様が話しかけやすい雰囲気を家庭の中に用意しましょう。

- ◆説教的な言い方や押しつけ的な言い方は避けましょう。
- ◆否定せず、聞きながら教えていくような言い方を意識
しましょう。例「でも、〇〇」→「それなら、〇〇」

◇受験の流れを知っておきましょう。

- ◆いつまでに、何を、どう決めるのか、必要な経費は、
手続きの方法は、など

◇正確な情報を得る手段を持ちましょう。

- ◆お子様への語りかけには、本人の受け止め方を十分に
配慮しましょう。(お子様が語らないことが多い内容
の話を、自ら知る手段を持っておきましょう)

◇望ましい生活のリズムを、一緒に実践していきましょう。

- ◆子に言う前に親が実行しましょう。
- ◆特に「朝」の時間を大切にしましょう。

◇お子様の健康管理をしっかり行いましょう。

- ◆食事がしっかりとれる生活のスタイルを確立し、夜更か
しや、間食の取り過ぎには十分に注意しましょう。
- ◆進路の見通しを家庭で共有し、精神的に健康でいられる
ようにしましょう。

◇担任や学年の教師と十分に連絡を取っていきましょう。

- ◆悩むよりも相談です。迷うことがあったら学校へご連絡
ください。

火をつけるのは「尻」でなく、「ハート」。
ともに手を携えて進んでいきましょう。